

【万葉古代学係彙報】(令和3年1月～12月)

令和2年度

- 1月15日 古都飛鳥保存財団小川常務理事が来館し、井上研究員が対応。
- 1月18日 奈良テレビ「ならいいね!」による飛鳥池工房遺跡復原遺構の撮影取材に竹内研究員が対応(2月13日放送、2月27日再放送)。
- 1月19日 特別展「万葉の起憶一偉人たちがしたためた万葉歌碑原書を中心に」(12月12日～2月28日)後期展示開始。賀茂真淵讚『柿本人麻呂像』から泰晋画・安井門跡讚『柿本人麻呂像』(いずれも当館蔵)への展示替え。
- 1月20日 講座「万葉集をよむ」(会場:万葉文化館)で、井上研究員が「神亀二年の難波行幸歌群(928～934番歌)」を講義。
- 1月28日 NHK Eテレ「趣味の園芸 万葉の花」の撮影取材に阪口研究員が対応、出演(2月21日放送、2月23日・25日再放送)。
- 1月29日 奈良市生涯学習財団主催の講座「『日本書紀』人代巻を読む」(会場:奈良市生涯学習センター)で、阪口研究員が「譲り合う兄弟、顕宗天皇と仁賢天皇」と題して講演。
- 1月31日 第86回「万葉古代学講座」(会場:万葉文化館)で、竹内研究員が「出土文字資料からみた日本古代の貨幣生産」と題して講演。
- 2月12日 NAFIC(なら食と農の魅力創造国際大学校)の「奈良学入門」(会場:NAFIC池之内校舎)において、井上研究員が「万葉集の世界」と題して講義。
- 2月13日 奈良教育大学主催ESD研究会(リモート開催)に阪口研究員が参加。
- 2月17日 講座「万葉集をよむ」(会場:万葉文化館)で、竹内研究員が「印南野行幸従駕歌(935～941番歌)」を講義。
- 2月19日 大阪府立中之島図書館特別展「古典籍に描かれた名花・名木」関連講演会(会場:大阪府立中之島図書館)において、井上研究員が「万葉集をよむ:万葉集に描かれた名花・名木」と題して講演。
- 2月26日 奈良市生涯学習財団主催の講座「『日本書紀』人代巻を読む」(会場:奈良市生涯学習センター)で、井上研究員が「推古天皇と舒明天皇」と題して講演。
- 2月27日 第7回主宰共同研究「古代日本の思想文化に関する学際的研究—『万葉集』にみる」の共同研究会を開催(会場:万葉文化館)。共同研究員の松田度氏(大淀町教育委員会学芸員)が「〈原吉野〉の成立背景～その空間認識と思想文化～」、阪口研究員が「古事記にみえる儒教思想—古事記下巻の構想と構成—」と題して研究発表。続いて、井上・竹内研究員および共同研究員の三舟隆之氏(東京医療保健大学教授)・山口敦史氏(大東文化大学教授)・遠藤慶太氏(皇學館大学教授)を交えて質疑応答(三舟氏・山口氏・遠藤氏はリモート参加)。
- 2月28日 和泉図書館の図書館文学講座(会場:和泉図書館)で、阪口研究員が「万葉集の世界～万葉集と浦島太郎～」と題して講演。
- 3月2日 奈良県立大学ユーラシア研究センター主催の「近世奈良を語る会」(会場:奈良県立大学)に、井上研究員が出席。
- 3月3日 田原本町生涯教育課主催の田原本町新生涯学習講座(会場:田原本青垣生涯学習センター)で、竹内研究員が「万葉集から見る古代大和の交通路」と題して講演。

- NHK Eテレ「趣味の園芸 万葉の花」の撮影取材に井上研究員が対応、出演（3月21日放送、3月23日・25日再放送）。
- 3月6日 一般展示室「さまざまな万葉集」（令和2年度テーマ『『万葉集』と『日本書紀』』）の展示替え（展示期間：3月6日～4月18日）。「磐姫皇后」に関連する『万葉集』『日本書紀』版本を展示。阪口研究員が解説を執筆。
桜井市立図書館の図書館文化講座（会場：桜井市立図書館）で、阪口研究員が「梅・桜の万葉歌」と題して講演。
- 3月14日 美夫君志会常任理事会（会場：中京大学）に、井上研究員が出席。
- 3月17日 講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で、阪口研究員が「山部赤人の辛荷・敏馬における歌（942～947番歌）」を講義。
- 3月18日 美祿市教育委員会主催の史跡長登銅山跡調査及び整備委員会（会場：長登銅山文化交流館）に竹内研究員がオブザーバーとして出席。
- 3月20日 古都飛鳥保存財団主催の令和あすか塾（会場：祝戸荘）で、竹内研究員が「文献史料から見た藤原京の造都」と題して講演。
- 3月24日 都城島津邸一行が古典籍調査のため来館、井上研究員・竹内研究員・阪口研究員が対応。『万葉古代学研究年報』第19号発行。
- 3月26日 奈良市生涯学習財団主催の講座『『日本書紀』人代巻を読む』（会場：奈良市生涯学習センター）で、竹内研究員が「二代にわたる藤原京の造都、天武天皇と持統天皇」と題して講演。
- 3月28日 全国大学国語国文学会の代表委員会（リモート開催）に、井上研究員が出席。
- 3月30日 第7回主宰共同研究「古代日本の思想文化に関する学際的研究—『万葉集』にみる」の現地調査を実施。井上・竹内・阪口研究員および共同研究員3名（三舟氏・山口氏・松田氏）により御所市・葛城市の遺跡等を巡見。
- 3月31日 『万葉文化館ガイドブック』（増補改訂版）発行。
- 令和3年度
- 4月1日 第13回委託共同研究公募開始。
- 4月2日 読売新聞大阪本社文化部の取材に竹内研究員が対応。飛鳥池工房遺跡復原遺構の解説、富本銭の性格などを説明（4月20日夕刊に記事「日本史アップデート」掲載）。
- 4月8日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月24日・25日開催予定であった「開館20周年東京特別講座」、5月19日開催予定であった講座「万葉集をよむ」の延期を決定。
- 4月14日 講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で、井上研究員が「打毬と雷電（948～949番歌）」を講義。
- 4月15日 読売新聞大阪本社「日本史アップデート」の取材に竹内研究員が対応（4月20日夕刊に掲載）。
- 4月16日 三郷町主催みさと万葉学習会（会場：三郷町立図書館）で、阪口研究員が「磯城島の大和の国」と題して講演。
- 4月29日 一般展示室「さまざまな万葉集」（令和3年度テーマ「近世国学者の万葉集研究」）の展示替え（展示期間：4月29日～7月11日）。賀茂真淵『万葉考』と本居宣長『玉の小琴』を展示。阪口研究員が解説を執筆。
- 4月30日 第13回委託共同研究応募締切。

- 5月9日 美夫君志会常任理事会(リモート開催)に、井上研究員が出席。
- 5月13日 個人研究にかかる館内説明会を実施。
- 5月22日 上代文学会理事会(リモート開催)に、井上研究員と阪口研究員が出席。
- 5月27日 第13回委託共同研究審議会を開催、採択共同研究を決定。
- 5月28日 奈良県立大学CHISOUプロジェクト現地調査(甘樫丘ほか)を、井上研究員が引率。
- 5月29日 山の辺文化会議講座(会場:天理市文化会館)において、井上研究員が「うまさけ三輪の山 あをによし奈良の山」と題して講演。
- 6月1日 第13回委託共同研究(2件)について委託契約を締結。
- 6月4日 奈良県立大学CHISOUプロジェクト一行が来館し、井上研究員が館内を案内。
- 6月5日 全国大学国語国文学会の代表委員会(リモート開催)に、井上研究員が出席。
- 6月13日 美夫君志会常任理事会(リモート開催)に、井上研究員が出席。
- 6月16日 講座「万葉集をよむ」(会場:万葉文化館)で、阪口研究員が「大宰の官人等の歌(955~961番歌)」を講義。
井上研究員が、第7回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラムに関するスペシャルアドバイザーに就任。
- 6月19日 東アジア比較文化国際会議日本支部理事会(リモート開催)に、井上研究員が出席。
古事記学会理事会(リモート開催)に、井上研究員と阪口研究員が出席。
- 6月20日 古事記学会・風土記研究会合同大会(リモート開催)において、井上研究員が総合司会を務める。
- 6月25日 都城島津邸に館蔵古典籍を貸し出し。
- 6月26日 奈良教育大学ESD研究会(会場:万葉文化館)に、井上研究員と阪口研究員が出席。
- 6月28日 特別展「うま酒の国大和」に関する調査(大神神社)を実施。
- 6月30日 講座「万葉集をよむ」(会場:万葉文化館)で、竹内研究員が「神亀五年の難波宮行幸(950~954番歌)」を講義(5月19日開催予定分)。
- 7月3日 美夫君志会常任理事会(会場:中京大学)に、井上研究員が出席。
- 7月6日 「飛鳥・藤原まるごと博物館」検定試験問題作成委員会(会場:国営飛鳥歴史公園館)に、井上研究員が出席。
- 7月10日 奈良教育大学主催ESD研究会(会場:万葉文化館、飛鳥宮跡、酒船石遺跡ほか)で、竹内研究員が飛鳥における埋蔵文化財の調査と保存活用の事例を実地で紹介。阪口研究員が参加。
上代文学会例会(リモート開催)において、井上研究員が「味酒三輪」と詠むこと」と題して研究発表。
- 7月11日 ならどっとFM784「岡本彰夫の奈良、奥の奥」公開収録(会場:奈良バスターミナルレクチャーホール)に、井上研究員がゲスト出演。
- 7月14日 大阪歴史博物館特別展の企画会議に、井上研究員が出席。
- 7月17日 本居宣長記念館「宣長十講」(会場:本居宣長記念館)で、阪口研究員が「本居宣長手沢本万葉集と加納諸平の万葉集研究」と題し講演。
- 7月22日 一般展示室「さまざまな万葉集」(令和3年度テーマ「近世国学者の万葉集研究」)の展示替え(展示期間:7月22日~9月26日)。本居大平『萬葉山常百首』と『萬葉集傍注』を展示。阪口研究員が解説を執筆。

- 奈良県立大学CHISOUプロジェクト一行の現地調査（飛鳥・八釣）について、井上研究員が引率。
- 7月25日 奈良県立図書館主催の「図書館劇場16-2」（会場：奈良県立図書館）において、井上研究員が「『万葉集』の「上宮聖徳皇子」歌」と題して講演。
- 7月28日 講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で、井上研究員が「天平二年の大伴坂上郎女（962～964番歌）」を講義。
- 8月1日 奈良県立大学CHISOUプロジェクトの一環として、井上研究員が「「音」から読み解く万葉集と明日香村」と題して講義。
- 8月8日 イベント「万葉文化館で見つかる化石とそのルーツ」（会場：万葉文化館）を開催。井上研究員が「石の万葉歌と古代日本の岩石信仰」について解説し、西本昌司氏（愛知大学教授）が「万葉文化館で見つかる化石とそのルーツ」と題して講演。
- 8月11日 雑誌「やまとびと」の取材・撮影に、井上研究員が対応。
- 8月15日 イベント「古代遺跡のひみつ」（会場：万葉文化館）を開催。竹内研究員が飛鳥池工房遺跡復原遺構を現地案内。
- 8月18日 講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で、竹内研究員が「大伴旅人の帰京と水城（965～970番歌）」を講義。
- 8月19日 古事記学会理事会（リモート開催）に、井上研究員と阪口研究員が出席。古事記学会関西例会（リモート開催）において、阪口研究員が司会を務める。
- 8月21日 入江泰吉旧居主催講座「入江泰吉と万葉集」（会場：入江泰吉旧居）で、阪口研究員が「万葉集の子どもの歌」と題して講演。
- 8月24日 「飛鳥・藤原まるごと博物館」検定委員会（会場：飛鳥歴史公園館）に、井上研究員が出席。
都城島津邸が館蔵古典籍を返却。
- 8月29日 イベント「浦島太郎の紙芝居を作ろう」（会場：万葉文化館）を開催。阪口研究員が企画および講師を担当。
- 9月1日 タカラヅカ・スカイ・ステージ（宝塚歌劇衛星放送チャンネル）「旅タカラジェンヌ極」の撮影取材に阪口主任研究員が対応、出演（11月16日～リピート放送、KBS京都12月5日放送）。
- 9月4日 開館20周年特別講座を開催（会場：万葉文化館）。松田信彦氏（鹿児島工業高等専門学校教授、元万葉古代学研究所主任研究員）が「日向と大和一見えることの重要性―」と題して講演（松田氏はリモートで出演）。
- 9月9日 第7回主宰共同研究「古代日本の思想文化に関する学際的研究―『万葉集』にみる」の共同研究会を開催（会場：万葉文化館）。井上・竹内・阪口研究員および共同研究員4名（三舟氏・山口氏・遠藤氏・松田氏）により今後の共同研究の進め方について議論（三舟氏・山口氏・遠藤氏はリモート参加）。
- 9月15日 講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で、阪口研究員が「白雲の龍田の山（971～972番歌）」を講義。
毎日新聞大阪本社「編集長からの手紙：万葉集の魅力」のインタビュー取材に阪口研究員が対応（12月11日朝刊に掲載）。
- 9月17日 広陵町立真美ヶ丘第一小学校第6学年の総合的な学習の時間で、阪口研究員が「万葉集

に親しもう～万葉集と竹取物語～」と題して講座。

- 9月18日 古事記学会9月例会(リモート開催)に阪口研究員が参加。
- 9月22日 NPO法人のべおか天下一市民交流機構主催の「のべおか天下一薪能開催直前 能楽講座」において、井上研究員が「万葉歌にみる死生一葵上・橋弁慶の道しるべとして一」と題してリモート講演。
- 9月25、26日 韓国放送公社(KBS)による特別展示室・飛鳥池工房遺跡復原遺構の撮影取材に竹内研究員が対応。
- 9月26日 第18回公開シンポジウム「万葉考古学ことはじめ—都市・交通・境界—」を開催(会場:万葉文化館)。第12回委託共同研究「万葉集の作歌をめぐる都市交通史的研究」(令和元・2年度実施、研究代表者:小鹿野亮氏)の成果報告として実施。小鹿野氏の「はじめに」に続き、研究発表第1部〈万葉集に見る境界—平城山と水城—〉として鈴木喬氏(奈良大学)「都市と境界」、山田隆文氏(奈良県立橿原考古学研究所)「平城山とは何か—万葉歌、古代道路、地形から探る—」、小鹿野亮氏「境界としての水城」、研究発表第2部〈万葉集における仙境—吉野と松浦—〉として田中真理氏(九州産業大学)「吉野・松浦の歌—仙境に見立てるとのこと—」、佐藤祐花氏(福岡市博物館)「大宰府長官の旅人はなぜ松浦郡に行ったのか」、菅波正人氏(福岡市埋蔵文化財課)「考古学から見た松浦郡」を行い、小鹿野氏の司会によるクロストークを実施(小鹿野氏・田中氏・佐藤氏・菅波氏はリモート参加)。
- 9月28日 奈良県立大学ユーラシア研究センター主宰の「近世奈良を語る会」に、井上研究員が出席。
- 10月3日 井上研究員が企画協力した、大阪歴史博物館特別展「難波をうたう—万葉集と考古学」が開幕(10月3日～12月5日)。
- 10月9日 一般展示室「さまざまな万葉集」(令和3年度テーマ「近世国学者の万葉集研究」)の展示替え(展示期間:10月9日～11月23日)。加納諸平『萬葉集卷第一』を展示。阪口研究員が解説を執筆。
- 10月9日 開館20周年記念特別展「うま酒の国 大和」を開催(10月9日～11月23日)。染田学芸員の主導、河野学芸員の協力により、展示企画および図録執筆を井上研究員・竹内研究員・阪口研究員が分担して担当。会期中に学芸員・研究員によるギャラリートークを随時実施。
- 10月10日 美夫君志会常任理事会(会場:中京大学)に、井上研究員が出席。
- 10月13日 講座「万葉集をよむ」(会場:万葉文化館)で、井上研究員が「豊神酒を賜へる御歌(973～974番歌)」を講義。
- 10月17日 大阪歴史博物館主催の特別展「難波をうたう—万葉集と考古学—」関連講演会「万葉集・古代史の中の難波へ」において、井上研究員が「万葉歌にみる呪術と祈り—難波を軸に一」と題して講演。
- 10月18日 奈良県立大学ユーラシア研究センター主宰の「近世奈良を語る会」(会場:奈良県立大学)に、井上研究員が出席。
- 10月20日 よみうりテレビ「かんさい情報ネットten.」の撮影取材に、井上研究員が対応、出演。
- 10月21日 美祢市教育委員会主催の史跡長登銅山跡調査及び整備委員会(会場:長登銅山文化交流館)に竹内研究員がオブザーバーとして出席。

- 10月22日 博物館協会近畿総会の一環として、井上研究員・阪口研究員が館内を案内。
- 10月23日 奈良教育大学主催ESD研究会（会場：万葉文化館）に井上研究員・阪口研究員が参加。
- 10月27日 富山県立高志の国文学館主催の「高校生のための令和万葉教室」（会場：富山県立小杉高等学校）において、井上研究員が『『万葉集』と大伴家持』と題して講演。
- 10月31日 島根県立古代出雲歴史博物館・斎宮歴史博物館・奈良県立万葉文化館 第5回三館連携シンポジウム「古代日本の酒文化」を開催（会場：万葉文化館）。及川あずさ（奈良県立万葉文化館長）・多根純氏（島根県立古代出雲歴史博物館長）・大西宏明氏（斎宮歴史博物館長）による挨拶に続き、基調報告として竹内研究員「大神氏と三輪の酒造り」、橋本剛氏（島根県立古代出雲歴史博物館）「神話・伝承からみた古代出雲と酒文化」、榎村寛之氏（斎宮歴史博物館）「伊勢物語 狩りの使の酒二献」を行い、井上研究員の司会によるディスカッションを実施。
- 11月2日 奈良県立大学CHISOUプロジェクト（リモート開催）に、井上研究員が出席。
古事記学会編集委員会（リモート開催）に、井上研究員が出席。
- 11月6日 東アジア比較文化国際会議中国大会（リモート開催）において、井上研究員が『『懐風藻』と記紀神話—古代東アジアの詩歌観を探るために—』と題して研究発表。
- 11月10日 講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で、竹内研究員が「日下直越道と難波（975～977番歌）」を講義。
- 11月13日 開館20周年記念「万葉の日記念フォーラム」（会場：企画展示室）において、河瀬直美氏（映画監督）をお招きし、井上研究員が聞き手を務める。会場内において、映画「朝が来る」の台本や小道具などを展示。
- 11月15日 奈良県立大学ユーラシア研究センター主宰の「近世奈良を語る会」（会場：奈良県立大学）に、井上研究員が出席。
- 11月17日 第69回全国博物館大会「博物館法制定70周年記念大会」（会場：北海道立道民活動センター「かでの2・7」）において、井上研究員が永年勤続者表彰を受ける。
- 11月18日 第7回主宰共同研究「古代日本の思想文化に関する学際的研究—『万葉集』にみる」の現地調査を実施。竹内・阪口研究員および共同研究員2名（三舟氏・遠藤氏）により王寺町・香芝市・斑鳩町の遺跡・展示施設等を巡見。
- 11月19日 第7回主宰共同研究「古代日本の思想文化に関する学際的研究—『万葉集』にみる」の現地調査を実施。井上・竹内・阪口研究員および共同研究員3名（三舟氏・遠藤氏・松田氏）により大淀町・下市町・吉野町の遺跡・展示施設等を巡見。
- 11月23日 面打師・藤原千沙氏一行が来館し、井上研究員が館内を案内。
- 11月27, 28日 開館20周年記念 東京特別講座（会場：奈良まほろば館）を開催。井上研究員が「欧文挿絵本にみる『万葉集』」、竹内研究員が「日本古代の貨幣鑄造組織」、阪口研究員が「古事記中巻の神と天皇」を講義（両日とも同一内容、4月24, 25日開催予定を延期）。
- 12月1日 新型コロナウイルス感染拡大防止策の一環で、「東京特別講座」の配布資料を1週間限定でHP公開（落選者のみ、要パスワード）。
- 12月4日 一般展示室「さまざまな万葉集」（令和3年度テーマ「近世国学者の万葉集研究」）の展示替え（展示期間：12月4日～3月13日）。橋千蔭『萬葉集略解』と『薄葉本萬葉集』を展示。阪口研究員が解説を執筆。
- 12月5日 一般社団法人ウェルネスインバウンド協会主催、奈良教育大学明日香村フィールドワー

- クグループへの解説(会場:万葉文化館)を阪口研究員が担当。
- 12月11日 奈良教育大学主催ESD研究会(会場:万葉文化館)に阪口研究員が参加。
- 12月12日 美夫君志会常任理事会(会場:中京大学)に、井上研究員が出席。
- 12月14日 奈良芸術短期大学「明日香学」において、井上研究員が『万葉集』と飛鳥』と題して講義。
- 12月15日 講座「万葉集をよむ」(会場:万葉文化館)で、阪口研究員が「土やも空しくあるべき(978~979番歌)」を講義。
- 12月18日 明日香村主催「伎楽ワークショップ」(会場:企画展示室)の一環として、館蔵伎楽面4点をホワイエに展示。
- 12月19日 第87回「万葉古代学講座」(会場:万葉文化館)で、井上研究員が「枕詞」の比較詩学』と題して講演。
- 12月21日 NAFIC(なら食と農の魅力創造国際大学校)の「奈良学入門」(会場:NAFIC池之内校舎)において、井上研究員が「万葉集の世界』と題して講義。

◆研究員業績一覧

【井上 さやか】

[研究論文]

『万葉集』における持統天皇像—天香具山を軸に一』(『万葉古代学研究年報』第19号)、令和3年3月
「比較文化の視点からみた「枕詞」」(『東アジア比較文化研究』東アジア比較文化国際会議日本支部)、令和3年12月

[研究発表]

「味酒三輪」と詠むこと—『万葉集』巻1・17~19番歌について—(上代文学会7月例会)、令和3年7月10日

『懐風藻』と記紀神話—古代東アジアの詩歌観を探るために—(東アジア比較文化国際会議中国大会「東アジア文化の交流と創造」) 令和3年11月6日

「味酒」と詠むこと」(奈良県立大学ユーラシア研究センター「近世奈良を語る会」)、令和3年11月15日

[書評・評論など]

「万葉歌と龍田道」(『月刊大和路ならら』2021年1月号)、令和3年1月

「奈良県立万葉文化館蔵『懐風藻』 解題」(『万葉古代学研究年報』第19号)、令和3年3月

「近世・近代の万葉集研究—下河辺長流を軸に一」(『近世奈良を語る会』調査研究レポート:近世の奈良を見つめ直す。V)、奈良県立大学ユーラシア研究センター)、令和3年3月

「新刊紹介 廣岡義隆氏著『萬葉のえにし』」(『美夫君志』第103号)、令和3年10月

「万葉歌における枕詞—比較文化的視点から—」(『EURO NARASIA Q』Vol.19)、令和3年10月

「味酒」と「三輪」(『開館20周年記念特別展 うま酒の国 大和』図録、奈良県立万葉文化館)、令和3年10月

『万葉集』の風景—明日香の万葉故地探訪』(『飛鳥への招待』中央公論新社、令和3年3月)

[その他]

「大伴旅人と梅花の宴」(『NHK趣味の園芸』2月号、NHK出版)、令和3年1月

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年1月20日)

- 「万葉 花の歌 第10回 スミレ」（『NHK趣味の園芸』3月号、NHK出版）、令和3年2月
- 「はじめての万葉集 Vol.82 しかたり」（『県民だより奈良』2021年2月号、奈良県広報広聴課）、令和3年2月
- 「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和3年2月3日）
- 「飛鳥時代の息吹を伝える『万葉集』」ほか（『飛鳥への招待』中央公論新社）、令和3年3月
- 「座談会 古都飛鳥の百年、これからの飛鳥」（『飛鳥への招待』中央公論新社）、令和3年3月
- 「博物館のなかの万葉集」ほか（『万葉集の基礎知識』KADOKAWA）、令和3年4月
- 「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和3年4月28日）
- 「はじめての万葉集 Vol.85 はたや今夜も」（『県民だより奈良』2021年5月号、奈良県広報広聴課）、令和3年5月
- 「探訪『万葉集』のアジサイ」（『NHK趣味の園芸』6月号、NHK出版）、令和3年5月
- 「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和3年5月19日）
- 「明日香への想い」（万葉文化館ファンクラブ通信『とぶとり』7号）、令和3年3月
- 「はじめての万葉集 Vol.88 琴の化身の少女」（『県民だより奈良』2021年8月号、奈良県広報広聴課）、令和3年8月
- 「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和3年7月28日）
- 「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和3年8月25日）
- 「『万葉集』に載らなかった古代の歌」ほか（『特別展 難波をうたう—万葉集と考古学— 展示ガイドブック』大阪歴史博物館）、令和3年10月
- 展示品解説（分担執筆）（『開館20周年記念特別展 うま酒の国 大和』図録、奈良県立万葉文化館）、令和3年10月
- 「万葉文化館サミット—万葉古代学が目指すもの—」（『大和の古代文化』新典社）、令和3年10月
- 「はじめての万葉集 Vol.91 三輪山の黄葉」（『県民だより奈良』2021年11月号、奈良県広報広聴課）、令和3年11月
- 「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和3年11月3日）
- 「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和3年11月17日）
- 「雪の祝福」（万葉文化館ファンクラブ通信『とぶとり』10号）、令和3年12月

【竹内 亮】

[研究論文]

- 「七～八世紀の貨幣鑄造機関」（『万葉古代学研究年報』第19号）、令和3年3月
- 「七～八世紀の貨幣鑄造機関」（『古代テクノポリス山口—その解明と地域資産創出を目指して— 山口大学山口学研究センター研究プロジェクト 研究報告書』山口大学）、令和3年3月 ※上掲論文の再録
- 「酒造神としての三輪山の神の成立とその変遷」（『開館20周年記念特別展 うま酒の国 大和』図録、奈良県立万葉文化館）、令和3年10月
- 「飛鳥池遺跡北地区出土木簡と飛鳥寺」（『奈良文化財研究所学報第71冊 飛鳥池遺跡発掘調査報告 本文編〔I〕生産工房関係遺物』奈良文化財研究所）、令和3年12月

[研究発表]

- 「古代三輪山祭祀とミワ氏」（奈良歴史研究会10月例会）、令和3年10月28日

[調査報告]

「V(特殊遺物の資料報告)2.木簡」(『山口市埋蔵文化財調査報告第125集 史跡周防鑄銭司跡 第3次・4次・5次・6次調査』山口市教育委員会・山口大学)、令和3年3月

「第四章-4(出土遺物-木簡)Ci 南北大溝SD1130」(『奈良文化財研究所学報第71冊 飛鳥池遺跡発掘調査報告 本文編〔I〕生産工房関係遺物』奈良文化財研究所)、令和3年12月

[書評・評論など]

「奈良県立万葉文化館蔵『首書評註 聖徳太子傳暦』解題」(『万葉古代学研究年報』第19号)、令和3年3月

「新刊紹介『埋蔵文化財ニュース第一八五号 奈良県出土墨書刻書土器・文字瓦集成 上』」(『奈良歴史研究』第92号)、令和3年8月

[その他]

「『万葉文化』の血脈(連載「博物館って楽しい!」奈良県立万葉文化館)」(『月刊奈良』61-2(通巻635)号)、令和3年2月

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年2月17日)

「はじめての万葉集 Vol.83 鏡王女の出自」(『県民だより奈良』2021年3月号、奈良県広報広聴課)、令和3年3月

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年3月10日)

解説「令和の時代へ(特別展示室・さまざまな万葉集・万葉歌碑)」(『奈良県立万葉文化館ガイドブック 増補改訂版』、令和3年3月)

「はじめての万葉集 Vol.86 長屋の原にて」(『県民だより奈良』2021年6月号、奈良県広報広聴課)、令和3年6月

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年6月2日)

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年6月16日)

「斑鳩と万葉歌」(万葉文化館ファンクラブ通信『とぶとり』8号)、令和3年7月

「はじめての万葉集 Vol.89 藤原麻呂と坂上郎女」(『県民だより奈良』2021年9月号、奈良県広報広聴課)、令和3年9月

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年9月8日)

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年9月22日)

展示品解説(分担執筆)(『開館20周年記念特別展 うま酒の国 大和』図録、奈良県立万葉文化館)、令和3年10月

「はじめての万葉集 Vol.92 光明皇后と恭仁遷都」(『県民だより奈良』2021年12月号、奈良県広報広聴課)、令和3年12月

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年12月8日)

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年12月22日)

【阪口 由佳】

[研究論文]

「奈良県立万葉文化館蔵『萬葉集巻第一』から見る加納諸平の万葉集研究」(『万葉古代学研究年報』第19号)、令和3年3月

[研究発表]

「履中紀五年条における神とお告げ」(日本書紀研究会7月例会)、令和3年7月24日

[調査報告]

[書評・評論など]

「奈良県立万葉文化館蔵『万葉集』(平仮名傍訓本) 解題」(『万葉古代学研究年報』第19号)、令和3年3月

「酒を醸す神一大物主と少名毘古那」(『開館20周年記念特別展 うま酒の国 大和』図録、奈良県立万葉文化館)、令和3年10月

[その他]

「はじめての万葉集 Vol.81 飛鳥に降る雪」(『県民だより奈良』2021年1月号、奈良県広報広聴課)、令和3年1月

「万葉花のうた 第9回ウメ」(『NHKテキスト 趣味の園芸』、令和3年2月号、令和3年1月)

『奈良通が選んだ奈良万葉の旅百首』監修補助、令和3年2月

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年3月31日)

「はじめての万葉集 Vol.84 草壁皇子の恋の歌」(『県民だより奈良』2021年4月号、奈良県広報広聴課)、令和3年4月

「IV 万葉集をよむための小事典(28項目)」(『万葉集の基礎知識(角川選書)』、令和3年4月)

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年4月14日)

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年6月30日)

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年7月14日)

「はじめての万葉集 Vol.87 赤駒の越ゆる馬柵」(『県民だより奈良』2021年7月号、奈良県広報広聴課)、令和3年7月

「ふるさとの萩」(万葉文化館ファンクラブ通信『とぶとり』9号)、令和3年9月

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年10月6日)

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和3年10月20日)

「はじめての万葉集 Vol.90 秋の風吹く」(『県民だより奈良』2021年10月号、奈良県広報広聴課)、令和3年10月

展示品解説(分担執筆)(『開館20周年記念特別展 うま酒の国 大和』図録、奈良県立万葉文化館)、令和3年10月